

学校における食育指導

— 食育からヘルスプロモーションにつなげるための課題 —

川崎 裕美 森脇 智子 荒谷美津子 福田 佳世
井上 由子 高橋 法子 金岡 美幸 宮里 智恵
木本 一成 辻 美穂 秀島 千晴

1. はじめに

学校における食に関する指導について、食育基本法や食育推進基本計画、現行の学習指導要領等では、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等における個々の食に関する指導を継続性に配慮しつつ、教科横断的な指導として関連付け、学校教育活動全体を通じて取り組むこととされている¹⁾。食育は生涯にわたるヘルスプロモーションにつながると考えられ、学校教育において実施することが明確に示されたことは、子どもの健康の保持増進にとって非常に重要である。学校ごとに工夫しながら取り組んで行く必要性は高い。しかしながら、食育とは具体的には何であるのかがわかりにくく、体系的に学習することについて担当者は困惑している現状もある。食育の取り組みの難しさについて金子は、各教科、教育活動の中で連携し、横断的に行うように求められていて、中心の曖昧さが感じられなくもないと述べている²⁾。たしかに、食育の内容は広範囲に及ぶため、目標が曖昧になり、学習や保健指導による子どもの変化も把握しづらい。学習指導要領で示される教科に関する目標のように、食育においても年齢や学年による目標を明確にすることで、教科横断の複雑さや曖昧さを軽減し、体系的な学習ができる考えた。そこで、積極的に食育に取り組んでいる三原学校園で、学年・教科でどのように食に関する指導が盛り込まれているのかを整理し、児童の食に関する行動目標を作成することを試みた。

2. 研究の目的・方法

1) 対象

三原幼稚園の月間指導計画と食育カリキュラム、および三原小学校の平成21年度年間指導計画を分析対象とした。

2) 分析方法

(1) 食育に関わる学習内容の整理

1年間に指導することが計画されている内容から、食育に関わる単元・題材名を抜き出し、文部科学省が掲げる6つの食に関する指導目標（以下指導目標）との対応を検討した。各単元・題材に、対応すると考えられる目標を目標①～⑥で示した。目標①は「食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する」、目標②は「心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける」、目標③は、「正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける」、目標④は「食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々への感謝する心をもつ」、目標⑤は、「食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける」、目標⑥は、「各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ」である。

学習内容は、学校種、年齢・学年、教科、月ごとにまとめ、横列で幼稚園と小学校で内容がつながるよう配列した。幼稚園に教科はないが、小学校と合わせて分析するために、食育カリキュラムを参考に「自然物栽培物」「イメージ」「体を動かす」「食事に関するマナー」「会食」の5教科として整理した。

(2) 達成可能な行動目標の作成

教科ごとに、食育に関わる単元・題材によって学習できると判断した指導目標を、指導目標ごとに単元・目標をまとめ、指導目標ごとに学習できる内容を確認したうえで、小学校低学年・中学年・高学年児童の行動目標を作成した。

3. 成果と課題

1) 年間指導計画から整理した食育の内容

Hiromi Kawasaki, Satoko Moriwaki, Mitsuko Aratani, Kayo Fukuda, Yoshiko Inoue, Noriko Takahashi, Miyuki Kaneoka, Tomoe Miyasato, Kazushige Kimoto, Miho Tsuji, Chiharu Hideshima : Comprehensive education for children into healthier eating styles, approach to health promotion

(1) 幼稚園における食育の取り組み

・幼稚園の取り組み内容

幼稚園における取り組みと、指導目標との対応を表1-1～表1-2に示した。食育は「自然物栽培物」「イメージ」「食事に関するマナー」「会食」の4教科に該当した。

教科で取り組まれている内容は、「自然物栽培物」では、3歳児・4歳児・5歳児に共通して、ヨモギ摘み、年長児が作ったヨモギ団子を食べる、サクランボを摘んで食べる、サルビアの蜜を吸う、ドングリ拾い、年長児が作ったドングリクッキーを食べる、ヒヤシンス・クロッカスの水栽培、やきいも等の活動である。3歳児で確認された内容は、アサガオやサフランを植えて生長の様子を見る、保育室前の野菜の生長を見る、ナス・ピーマン・ミニトマトを収穫して食べる、自然物をままごとの材料に使う等の活動である。4歳児では、ハツカダイコン・インゲンマメの栽培・観察、サツマイモ・カイワレ等の水栽培の様子を見る、マメの水遣りや収穫、育てた野菜を食べる、春の野の草花を見る、秋の果物を見たり触ったり食べたりする等の活動である。5歳児では、自然物で遊ぶ、栽培物の世話・観察、サツマイモの苗植え、野菜を収穫して食べる、稲の様子を見る、稲刈り・脱穀、ギンナンを匂う、クリ・渋柿・アケビを食べる、柿やイチゴの葉の色の変化を見る、いもほり、玉ねぎを植える等の活動である。「イメージ」では、ごっこ遊び、ドングリ拾い、落ち葉集め、クリスマス会等の活動である。「食事に関するマナー」では、食事前には手を洗う、座って食べる、良い姿勢で食べる、箸を正しく持つ、こぼしたり残したりせずに食べる、食事前後の挨拶をする、食事の後片付けをする等の食事のマナーが身につくよう取り組まれている。「会食」では誕生会、七夕まつり、お月見コンサート、クリスマス会、お茶会、お別れ会、ひなまつり等を行っている。

(2) 小学校における食育の取り組み

・小学校の取り組み内容

小学校における取り組みと指導目標との対応を、表1-1～表1-2に示した。食育は「国語科」「書写」「社会科(3～6年)」「理科(3～6年)」「生活科(1～2年)」「図画工作科」「家庭科(5～6年)」「体育科」「道徳」「特別活動」「総合的な学習の時間」「国際コミュニケーション科(国際)」「食に関する指導」の13教科で該当した。

各単元・題材と文部科学省が掲げる食に関する指導目標の対応は、表1-1～表1-2のように考えられた。たとえば、「社会科」では、3年、「2、私たちの市で作り出されるもの(1)タコの町 三原」という

単元・題材名で、三原市のタコについて興味・関心をもち、三原市の海の自然環境とタコの生態を比較したり、タコ漁やタコを使った加工品について調査してまとめたりする学習が行われている。これは食が地域の農林水産業と関連していること、地域の気候風土と結びついた食文化があることを学ぶ機会であり、目標⑥が対応する。4年、「1、住みよいくらしをささえる(2)水はどこから(3)きれいな水をつなげるために」という単元・題材名で、水道局の人の工夫や努力により飲料水が確保されていること、自分たちの生活を支えるために飲料水の確保が組織的・計画的に行われていることを学び、きれいな水を守るためにはどうすればよいかを考える学習を行っている。飲料水の安全について考える機会であり目標③、水道局の人の苦労や努力によって自分たちの生活が支えられていることを知る機会となり目標④、環境と資源について考える機会となり目標⑤が対応する。6年、「3、世界の中の日本(1)我が国とつながりの深い国々(2)国際社会の平和と我が国の役割」という単元・題材名では、我が国と経済や文化等の面でつながりの深い国の人々との違いに気づく、我が国と他国との関係を理解する学習が行われている。我が国と世界の国々との生活の相違点に気づくことであるから、目標⑥が対応する。

「生活科」では、1年、「8、先生の仕事のひみつ見つけ【学校と生活】」という単元・題材名で、身近にいる教職員の仕事の内容や思いを調べることから、自分たちの生活が様々な先生に支えられていることに気づく学習を行っている。自分たちの生活を支えてくれている先生に感謝の気持ちを抱くことであり、目標④が対応する。2年、「2、お米を育てて、6年生さんと食事会をしよう【飼育・栽培】【地域と生活】【自然やものを使った遊び】【生活や出来事の交流】」という単元・題材名で、稲を栽培し、稲の生長の変化と季節の移り変わりとの関係や稲の生長過程や特徴に気づく学習を行っている。日常食べている米の生長過程を学ぶことができ目標③、米の生産には多くの苦労や努力が必要であることを体験するので目標④、育てた米を使って異年齢の人との食事会をすることで社会性を身につけるので目標⑤、昔ながらの方法で栽培や精米することで食文化を体験するため目標⑥が対応する。

幼稚園および小学校の年間指導計画学習内容と対応させた指導目標から、食事のマナーの習得は、主として幼稚園で取り組みがなされていると考えられた。幼小中連携が進められている三原学校園³⁾では、各学校種の教諭や養護教諭、栄養教諭等の連携によって、このような学習が可能であると考えられる。しかしなが

ら、食育に使用する時間数に限界があるなかでは、幼稚園での学習を基礎とすることも重要である。指導目標にはある程度の順序性も考えられた。大森らは、食の自立能力の基礎を確立する乳幼児期の食育を推進し、子どもに正しい食習慣を体得させることが肝要である⁴⁾と述べており、幼稚園で行った内容を考慮し、幼小中連携を積極的に行う必要性は高い。幼児期からの食育の取り組みと、その取り組みを引き継ぐ体制づくりが、教科目を横断して行われる食育を体系的に進めるための課題であると本研究から考えられた。

2) 行動目標の作成

食育に関わる学習内容をもとに、指導目標①～⑥について、小学校の低学年・中学年・高学年の児童の行動目標を考え、表2にまとめた。これまでの研究から、指導目標①、②、③、⑤は直接食に関わる目標であり、保護者にも理解しやすい目標であったが、指導目標④と⑥は、感謝や文化を含むため、食育として認識することが難しい指導目標であった。以下に指導目標④と⑥について詳細に記載した。

(1) 指導目標④の行動目標

低学年では、「生活科」において様々な先生たちの仕事と自分の生活との関係を考えたり、米作りの体験から食料生産の苦労を体感したりする活動があり、「道徳」において感謝の気持ちを育むという取り組みが行われている。行動目標は「給食の調理員や生産者の仕事内容や思いを調べ、説明できる」、「給食の調理員や生産者に感謝の気持ちを示すことができる」とした。中学年では、「社会科」において飲料水の確保、ゴミの始末と利用、販売の方法やそれに携わる人の工夫や努力について学習し、「道徳」において感謝の気持ちを育み、「食に関する指導」において給食に関わる人々について学習するという取り組みが行われている。この取り組みでの行動目標は、「飲食物の生産・確保、販売、調理、ゴミ処理等は、多くの人の苦労や努力によって支えられていることが説明できる」とした。高学年では、「社会科」において米作りや水産業等食料生産についての学習している。食育に関する行動目標は「食料の生産は、目に見えない多くの人の工夫や努力によって支えられていることが説明できる。」とした。目標④は、低学年では身近な人への感謝の気持ちであったものが、高学年になるにつれて自分の知らないところで食生活が支えられていることに対する感謝の気持ちへと向かうことが可能であると考えられる。しかし目標④は、毎日の食生活の背景に様々な人の苦労や努力があることや、一つ一つの食物は全て自然の恩恵の上に成り立っていること等、授業のなかで実際に見学や体験しにくい内容をどのように教えていくの

かという点に課題がある。

(2) 指導目標⑥の行動目標

低学年で、「国際コミュニケーション科（国際）」において海外の方々との交流を通して我が国と他国の共通点や相違点を見つける等、自他国についての関心を深め、世界の国々に対して親しみをもつための学習が行われている。そこで食育の行動目標は、「自分の周りには異なる文化があることが指摘できる」とした。中学年では、「社会科」において近隣の国々や世界の大まかな様子、我が国との関わり等についての学習が、「国際コミュニケーション科（国際）」において我が国と他国の文化への関心を深める学習が行われている。行動目標は「近隣の国々の位置や様子、我が国との関係の現状が説明できる」「我が国と他国の生活や行事の類似点や相違点を挙げるができる」とした。高学年では、「社会科」において我が国の食料生産や近隣諸国のとのつながり等についての学習が行われ、「国際コミュニケーション科（国際）」において海外の方々との交流を通して我が国の文化と他国の文化の理解が図られている。「自分たちの食生活と諸外国との関係について説明できる」「我が国の文化と他国の文化の類似点や相違点を挙げるができる」とした。様々な文化の存在に気づく段階から、我が国と他国の文化を知り、説明できるという段階に学年進行にともない目標⑥を深めることが可能であると考えられる。

4. まとめ

食育をヘルスプロモーションとして発展させるための課題として、以下のことが考えられた。

- 1) 指導目標には順序性があり、幼児期からの食育を意図した取り組みが重要である
- 2) 幼児期の食育を小学校、中学校に引き継ぐ体制づくりが必要である
- 3) 教科横断的に行われる食育を体系的に学習するためには、食育に特化した行動目標の作成が必要である

引用（参考）文献

- 1) 文部科学省：食に関する指導の手引。東京都，2007
- 2) 金子俊：世界に誇れる「食育」を想う。民族衛生，75（5）：153-154，2009
- 3) 広島大学附属三原学校園：21世紀型教育への提言～幼小中一貫で育つ子どもたち～。溪水社，広島，2008
- 4) 大森玲子，山崎久子，飯田有美 他：保育園児の食生活等に関する実態調査。宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要，第30号：361-368，2007

表 1-1 幼稚園・小学校 9 年間を通じた食育関連の教科指導計画

教科	3歳児		4歳児		5歳児		6歳児	
	月	指導目標	月	指導目標	月	指導目標	月	指導目標
国語	11	③	1. しせいせいといえよ のちかた	②⑤	1. 書くことのできる 文字	4	②⑤	1. 書くことのできる 文字
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
書写	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
社会科	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
理科	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
生活科	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
図工	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
体育	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
自然物栽培	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤
	4	②⑤	④	②⑤	4	②⑤	4	②⑤

表1-2 幼稚園・小学校9年間を通じた食育関連の教科指導計画

教科	3歳児		4歳児		5歳児		1年		2年		3年		4年		5年		6年				
	月	指導目標	単元・題材名	月	指導目標	単元・題材名	月	指導目標	単元・題材名	月	指導目標	単元・題材名	月	指導目標	単元・題材名	月	指導目標	単元・題材名			
イ	4~6	⑤	興味・関心をもち、もつものにたいして関わって遊ぶ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	4~5	⑤	興味・関心をもち、もつものにたいして関わって遊ぶ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	4	④	「おいしい気持ち」	4	④	「おいしい気持ち」	4	④	「あじがどうの言葉」	10	②	「見たかったコイン」	4	⑤	「チャイコフスキーの「小犬のワルツ」
	4~6	⑤	保育者や友達と一緒に楽しむ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	4~5	⑤	自分なりの目的や保育者や友達と一緒に楽しむ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	4	④	「山田さんのおくりもの」	4	④	「テレビがみられない」	4	④	「自分たちの行動で！」	10	⑤	「ことばについて」	5	⑤	「リーダーとして一さややおむかえ選足を通して」
	7~9	⑤⑥	興味・関心をもち、もつものにたいして関わって遊ぶ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	7~9	⑤	いろいろな友達や保育者や友達と一緒に楽しむ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	5	⑤	「さかあがり」	9	④	「かりたかさ」	6	⑥	「「誰の町」熊野町」	11	⑤	「焼った仕事」	9	⑤	「おしき測定器」
	5~6	②⑤	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	4~5	②	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	9	②	「ラッコのころ」	10	④	「心なされる行いや大切な言葉のやり取り」	9	②	「熊野さんの夏休み」	11	②	「百シヤアのふたしまいさん(夏戸千軒町運動)」	10	⑥	「夏田川に遊ぶ町(夏戸千軒町運動)」
食事に關するマナー	7~9	②④⑤	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	9~10	⑤	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	10	⑤	「さすばん」	2	⑥	「ふるさとのしまい」	1	⑥	「ふるさとのしまい」	2	⑥	「化粧箱を作り続ける」	12	⑤	「春社委員会活動」
	10~12	②⑤	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	11~1	②⑤	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	1	②	「おごづかい」	3	④	「交差点に立つおじさん」	2	④	「これからおいおい」	2	④	「交差点に立つおじさん」	3	④	「谷川岳に生きたトクター」
	11	④	話に興味・関心をもち、もつものにたいして関わって遊ぶ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	11	④	話に興味・関心をもち、もつものにたいして関わって遊ぶ活動(お家ごっこ、お店屋さんごっこ)	5	⑤	「正しい給食」	7	①②	「夏休みの生活」	7	①②	「夏休みの生活」	7	①②	「夏休みの生活」	7	①②	「夏休みの生活」
	1~3	②	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	1~3	②	身の回りの始末の仕方がわかる(手洗いや歯磨き)	6	②	「安全に気をつけて過ごそう」	12	②	「かぜとインフルエンザ」	11	⑤	「幼稚園さんとの交流(「遠足へ行こう」)」	7	②③④⑤⑥	「キャンプに向けて」	7	①②	「冬の生活」
会食	4~3	⑤⑥	誕生会	4~3	⑤⑥	誕生会	7	①②	「夏休みの生活」	12	①②	「冬の生活」	12	①②	「冬の生活」	12	①②	「冬の生活」	12	①②	「冬の生活」
	7	⑤⑥	七夕まつり	7	⑤⑥	七夕まつり	12	②	「健康に気をつけてすごそう」	3	①②	「善休みの過ごし方」	3	①②	「善休みの過ごし方」	3	①②	「善休みの過ごし方」	3	①②	「善休みの過ごし方」
	10	⑤⑥	お月見コンサート	10	⑤⑥	お月見コンサート	7	①②	「夏休みの生活」	12	①②	「冬の生活」	12	①②	「冬の生活」	12	①②	「冬の生活」	12	①②	「冬の生活」
	12	⑤⑥	クリスマス会	12	⑤⑥	クリスマス会	11	⑤	「世界のお茶Party」	6	⑥	「5. 一緒に遊ぼうPart1」	9	⑥	「世界のお茶Party」	6	⑥	「世界のお茶Party」	6	⑥	「世界のお茶Party」
3	⑤⑥	お別れ会	3	⑤⑥	お別れ会	11	⑥	「10. いろいろなこと」	11	⑥	「11. 世界のお茶Party」	11	⑥	「11. 世界のお茶Party」	11	⑥	「11. 世界のお茶Party」	11	⑥	「11. 世界のお茶Party」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	11	⑥	「7. 世界のお茶Party」	11	⑥	「7. 世界のお茶Party」	11	⑥	「7. 世界のお茶Party」	11	⑥	「7. 世界のお茶Party」	11	⑥	「7. 世界のお茶Party」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	
3	⑤⑥	ひなまつり	3	⑤⑥	ひなまつり	10	②	「何でも食べよう」	11	③	「料理や材料に興味を持つ」	12	④	「検査に關する」	1	②	「検査に關する」	1			

表2 低・中・高学年別食育に関する行動目標

	低学年	中学年	高学年
目標①	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと食事することの楽しさを言葉や態度で表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のために食事が重要であることが指摘できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は、生きていく上で欠かすことのできないものの1つであることが、例を挙げて説明できる。 ・朝食の役割・おやつとの役割を言える。
目標②	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの必要性を説明し、実践できる。 ・よく噛んで食べることの理由を説明し、実践できる。 ・良い姿勢で食事をするができる。 ・食べ物には3つの働きがあることが言える。 ・食べ物を偏りなく摂ろうとすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進や発達・発育には、規則正しい生活、バランスの良い食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活が重要であると指摘できる。 ・自分の生活習慣を振り返り、良い点・問題点を挙げるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4群の働きと含まれる食品群を説明できる。 ・食品を組み合わせて摂る必要があることを指摘できる。 ・栄養バランス・安全な食べ方等、食べ物の取り方を具体的に説明できる。 ・自分の生活を振り返り、計画的に健康的な生活を送るための改善点を挙げるができる。
目標③	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜や稲の生長や形態の特徴を指摘できる。 ・料理や材料に興味をもって食べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りには多くの輸入食品が存在することを指摘できる。 ・安全な飲料水が確保される過程を説明できる。 ・植物の生長過程や形態、季節に応じた自然の変化の特徴を指摘できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品表示の意味と安全な食べ方を説明できる。 ・調理用具やガスコンロの安全で衛生的な取り扱い方を説明できる。 ・安全・衛生に気をつけて、準備・調理・後片づけをすることができる。 ・食品に含まれる栄養素やその働き、食べる人の好みを踏まえ、一食分の4群を満たすメニューを作ることができる。
目標④	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の調理員や生産者の仕事内容や思いを調べ、説明できる。 ・給食の調理員や生産者に感謝の気持ちを示すことができる。 ・感謝の気持ちをこめて、食事のあいさつをすることができる。 ・植物を育てる苦勞を知り、植物を大切にすることを表現することができる。 ・季節による自然の変化を指摘できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食物の生産・確保、販売、調理、ゴミ処理等は、多くの人の苦勞や努力によって支えられていることが説明できる。 ・自然の恵みを食物として食べていることが指摘できる。 ・食生活を支える多くの人や自然に対する感謝の気持ちをもって、食事をするができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食料の生産は、目に見えない多くの人の工夫や努力によって支えられていることが説明できる。 ・動植物の生命の営みの仕組みを説明し、食が動植物の命を受けつぐことであることが指摘できる。 ・人と食物・水・空気及び他の動植物、それらを支える周囲の環境との関係性が説明できる。 ・食物連鎖を説明できる。 ・無駄のない調理方法が説明できる。
目標⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して食事の準備・後片付けをすることができる。 ・マナーに気をつけて食事をするができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら協力して準備・後片付けをしたり、マナーを考えたりして、食事することができる。 ・ごみの始末と利用方法が説明できる。 ・飲料水の確保の過程を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して食事の準備や後片付けを行うことや、マナーを考えて、楽しい食事をするができる。 ・食料生産と環境への影響の問題を説明できる。 ・人間と環境との関係を地球規模で説明できる。 ・環境を守るために自分にできることを具体的に挙げることができる。
目標⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの米作りの方法、米作りと生活のつながりが説明できる。 ・郷土の特色のあるものを挙げることができる。 ・自分の周りには異なる文化があることが指摘できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市・県の気候、地形、土地利用等の特徴・特色を説明できる。 ・名物・特産物と地域の伝統文化や気候風土が深く関係していることが説明できる。 ・生活の向上は、先人の思いや願い工夫や努力の積み重ねによるものであることが説明できる。 ・伝統・文化を大切にしようという気持ちを表現することができる。 ・近隣の国々の位置や様子、我が国との関係の現状が説明できる。 ・我が国と他国の生活や行事の類似点や相違点を挙げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々は、地域の文化伝統や気候風土に適応した生活を営んでいることが説明できる。 ・時代や道具・機械の変遷と日本の食生活変化を説明することができる。 ・歴史・文化・伝統の意味や先人の努力を知り、それらを大切にしようという気持ちを表現することができる。 ・我が国の位置、地形、気候等の特徴が説明できる。 ・自分たちの食生活と諸外国との関係について説明できる。 ・我が国の文化と他国の文化の類似点や相違点を挙げることができる。